

31H 川森 愛菜 33H 盛戸 陽菜 33H 銭元 勝大
 34H 奥田 心優 35H 村本 光陽 36H 竹口 幸哉

■課題

農業の人手不足

■解決策

農家のお手伝いバイトをマッチングアプリで募集する。

■現状(課題の背景)

農業従事者は年々減少...新規就農者数は変化に乏しい...
 →農業に興味のある若者が円滑に参入できるような策が必要。
 →マッチングアプリを活用する。

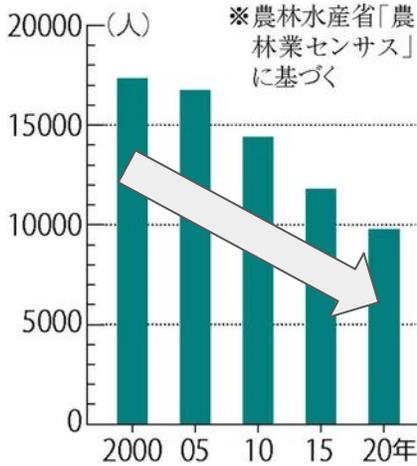
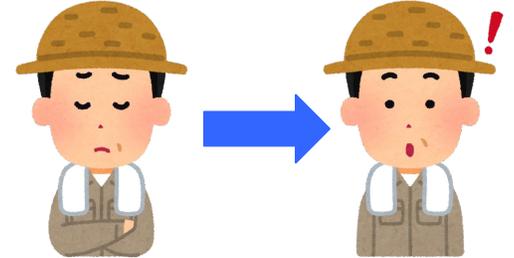


図1 県内の基幹的農業従事者数の推移

<https://www.yomiuri.co.jp/local/ishikawa/feature/C0055632/20220304-OYTAT50032/>

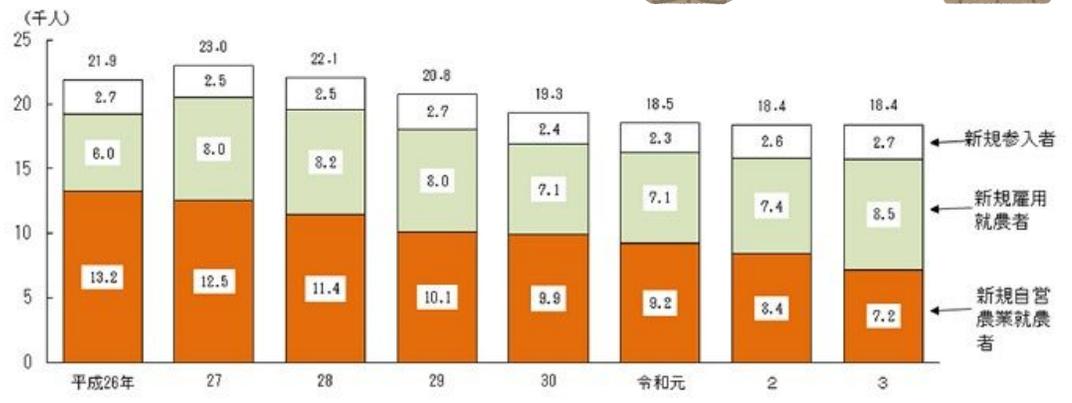


図2 49歳以下の新規就農者数の推移(就農形態別)

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/sinki/r3/index.html

■アプリの概要

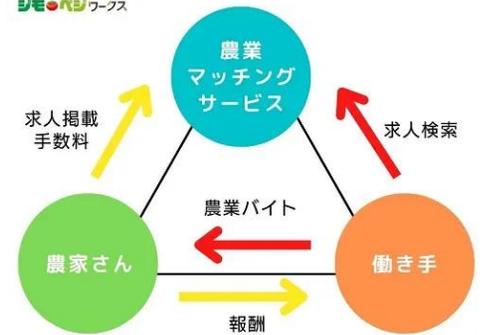
農業マッチングアプリ→農業に特化した人材マッチングサービス。
 人手不足の農家と農業バイトに興味のある働き手を結びつける。

●メリット

- ・単発バイト依頼可能
- ・農家バイトへのハードル低
- ・業種の明確化
- ・求人募集開始から最短5分で最適な人材とマッチング

●デメリット

- ・天候等によるトラブル
- ・できることに限りがある
- ・対象地域の限定
- ・農家の年齢層高→デジタルでの募集が難しい可能性



■アプリの宣伝

労働者

- ・SNSを利用した広告
- ・興味を引くCM
- ・農業系Vtu婆
↳若者の支持を得る。



雇用者

- ・農業組合にチラシを配布。
(アプリを入れてくれるような特典をつける。)
↳商品券、農業用具など
- ・アプリの講座を開く。
- ・農業組合の若者に普及してもらう。
=アプリを身近なものに。不信感を取り除く。



■参考文献

- 1)ジモベジワークス <https://jimovege-works.jp/column/agriculture-matching/> (参照2023-02-27)
- 2)Appliv https://app-liv.jp/docs/promotion_methods/ (参照2023-02-27)